学校番号	J3025

令和５年度　【美術】科

学年	1	週授業コマ数	1.3 (臨時時間割等で時間数確保)	授業時数 (45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	美術１（開隆堂）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業説明は主に、スライド、プリント、教科書を用います。プリントを整理するファイル等を各自、用意してください。 評価は、表現に関しては完成作品に至るまでの知識、技術、プロセス、試行錯誤や積極的な取り組みも評価します。鑑賞においても知識理解を深め、ものの見方を広げ、意欲的に鑑賞することを評価します。

２　学習の到達目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
(2) 自然の造形や美術作品など造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
(3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性の美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コラージュ	「夢」というテーマでコラージュを作成。さまざまな素材を組み合わせ、自分ならではの新しいイメージを表現する。	a. コラージュの方法やその効果を理解し、特徴を生かして表す。 b. さまざまな材料やコラージュの効果から表したいことを考える。 c. コラージュの技法に関心をもって取り組むことができる。	授業プリント・作品	授業プリント・作品	プロセス・ワークシート・活動の様子
	私の色	色の性質、効果を知識として理解した上で、絵の具を使ったさまざまな技法で表現する。	a. 色のもつ性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 b. 自分の感情や思いと、色のもつ効果を絡め、自分を表す色を考える。 c. 色に親しみを持ち意欲的に取り組むことができる。	授業プリント・作品	授業プリント・作品	プロセス・ワークシート・活動の様子
2学期	書体のいろいろ	図書館にある本のタイトルからどんな書体が使われているか、それぞれが研究する。	a. 書体がもつ伝達の効果と美しさを理解する。 b. 自分のロゴマークのデザインの構想を練る。	授業プリント	授業プリント	
	シンプルロゴマーク	自分を表すロゴマークをできるだけシンプルに、かつわかりやすいデザインを考案する。	a. ロゴマークの機能や意図を理解する。 b. 相手に伝える目的や機能をもとに、自分のロゴマークのデザインの構想を練る。 c. 身近なロゴマークに関心をもち、意欲的に制作に取り組むことができる。	授業プリント・作品	授業プリント・作品	プロセス・ワークシート・活動の様子

	若冲を鑑賞	伊藤若冲の作品を鑑賞。 若冲の樹花鳥獣図屏風を通して、作品の魅力、時代背景や日本の美術文化の働きについて見方や感じ方を広げる。	a.若冲が描いた作品の造形表現について理解する。 b.作品のよさや美しさを感じ取り、若冲の意図や表現の工夫について考える。 c.若冲の作品を楽しく鑑賞する。	授業プリント	授業プリント	授業プリント・活動の様子
	身近な動物	どんな動物を制作するかアイデアスケッチで、形や色を理解しながら構想を練り、制作する。	a.色や形の特徴を理解し表す。 b.色彩から構想を広げ、表したいものを考える。 c.色や形の面白さに興味を持って制作する。	ワークシート・作品	ワークシート・作品	ワークシート・プロセス・活動の様子・作品
3学期	偉人を魅了した焼き物たち	縄文土器、楽茶碗、曜変天目茶碗をはじめ、人々を魅了してきた日本の土器、陶磁器を鑑賞。	a.歴史に残る土器、陶磁器の造形と技術を理解する。 b.作品のよさや美しさを感じ取り、意図や表現の工夫について考える。 c.土器、陶磁器の造形的な美しさとその影響力に関心をもつ。	授業プリント	授業プリント	授業プリント・活動の様子
	縄文土器風ペン立て	縄文土器や縄文土偶は縄文人のさまざまな願いが込められて造られたとされている。それを踏まえた上で自分の願いを込めたオリジナルの縄文土器風ペン立てを制作する。	a.縄文土器、土偶の特徴を理解する。 b.縄文模様を自分の思いと絡め、作品の構想を練る。 c.生活で用いるものに関心をもち、制作する。	ワークシート・プロセス・作品	ワークシート・プロセス・作品	ワークシート・プロセス・活動の様子・作品
年間	人物クロッキー	年間を通して毎授業、人物クロッキーを行う。対象をよく観察し、短い時間で形をとらえて描く。	a.短時間でモデルの姿形を捉え、表現方法を理解して描くことができる。 b.クロッキーを通して、描き方の創意工夫を行っている。 c.クロッキーを通して描くことの喜びを味わい主体的に取り組む態度、それらの成長を評価。	クロッキー	クロッキー	クロッキー

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態

度